

ガチョウ番の娘

KHM89 Die Gänsemagd

昔、年をとったお妃とひとりの美しい姫がいました。姫は、遠くの国の王子と結婚することになりました。お妃は、姫のために贅沢な装身具や宝石を持たせて、侍女をひとりつけて送りだしました。途中で、悪い侍女は姫とむりやり入れ替わり、姫を脅して秘密を守らせました。お城へ着くと、侍女は王子と結婚し、姫はガチョウ番の手伝いをさせられてしまいます。唯一秘密を知っている姫の馬ファラダは、侍女から殺されてしまいました。姫は、こっそり城の猟師に頼んで、ファラダの首を城門に打ちつけてもらいました。

ガチョウ番の娘が馬の首と話をすることや、ガチョウの番をしている草原での不思議な娘の行動を王様が聞きつけます。それで、事の真相が露見して、ガチョウ番の娘がほんとうの姫であることがわかります。王子は、本当の花嫁と結婚し平和に暮らしました。

